



やあ!

1996
MARCH
No.42

3

市町村文化財紹介
日光市

神橋

大谷川に架かる美しい橋「神橋」は、古来神聖な橋として知られている。

橋の裏が黒塗りのほかは総朱塗りで、欄干は黒と金の金具で飾られている。1636年（寛永13年）の東照宮大造替のおり、酒井忠次が寄進した。あまりの見事さに「神橋」と呼ばれ、勅使・將軍・高僧のみが通行を許された。明治35年に洪水で流されたが、同37年再建された。全長28m、幅7.4 m。

日光開山の祖・勝道上人が大谷川の急流を渡れないので神仏に祈ったところ、深沙大王が現れ、赤青2匹の蛇を投げて橋に変えたという伝説がある。

— SHINKYO —

The Shinkyo, or Sacred Bridge, is a beautiful bridge crossing the Daiya River.

It is all red-lacquered except the back of the bridge, and the handrails are beautifully decorated with gold and black metal fittings. It was constructed in 1636, under the sponsorship of Tadatsugu Sakai. It was called the "Sacred Bridge" because of its outstanding beauty. Only the Shogun and the Emperor, or members of their retinue, were allowed to cross it. It was washed out in 1902, but rebuilt in 1904. The bridge is 28-m-long, and 7.4-m-wide.

Legend says that Shodo Shonin, the Monk who first settled the Nikko region, could not cross the Daiya River because of raging torrents. He began to pray fervently, and his prayers were answered by the god Jinja Daio, who appeared carrying red and blue snakes. He threw these across the river, and they twined together, forming a bridge.



写真提供：日光写真協会 撮影者：足立広文

特集

栃木県・市町の友好交流県・姉妹都市案内

- ◆ようこそとちぎへ ブラジルから日系高校生が来県
- ◆国際交流学校訪問 河内町立岡本小学校
- ◆国際交流団体紹介 A C E 栃木
- ◆リポート 青年海外協力隊帰国隊員報告会&パネルディスカッション
- ◆情報発信 バレエ・アカデミー留学生オーディション
高校生エッセイコンテスト'96

JETコーナー

外国人指導助手
デビッド・フィシャーさん
(25歳・イギリス出身)



私はデビッド・
フィシャーです。
J E T プログラム
の A L T として 3
年目になります。

西ヨーロッパの
外面にある小さな
国、北アイルラン
ド出身です。現在、

栃木県立宇都宮中央女子高等学校と野沢
養護学校及び盲学校で教えています。

Dia duit. Dahi ata orm. An bhfuil Gaeilge
agat? (発音は: Jeea ditch. Dahee ataw
orim. Un will Gaylga ugut?)

信じられず目に擦る前に説明したほ
うがよいでしょう。これは英語ではあり
ません。アイルランド語です。

アイルランド人は独自の言語を使用して
いましたが、現在はそうではありません

ん。ほとんどの人が英語を話しています。
先程の訳は「ハイ！元気？ 僕はデビッド
です。英語を話しますか？」です。ア
イルランド語は英語と関係のない古代の
言語です。これは 2 千年も前に高度な文
明をもちアイルランドに居住していたケ
ルト人の言語です。アイルランドにはケ
ルト人の遺産として言語、音楽、舞踊、
文学、詩等の特有の文化があります。

日本に来てから、時間があるとよくサイ
クリングに出掛けます。ある学校では
「チャーリちゃん」とあだ名もついています。
今は春が待ち遠しい限りです。暖かくな
れば栃木県の郊外やもっと遠くへも行け
ます。自転車で旅をすると、新鮮な空気
や景色をゆっくりと楽しみ、野生動物を
見ることもできます。その中にはお腹を
空かした犬もたまにいます。もしお腹が
空けば、近くのラーメン屋に立ち寄り、
地元の農家の人と生きた会話ができます。

友達に、そんなにサイクリングが好き
なやつなんておかしいぞと言われます。
その時いつも僕は「自分で体験する前
にけなすな」と言います。 Slan (スロー
ン) グッバイ。

My name is David Fisher. I'm a third year
ALT on the Jet Programme.
I'm a native of Northern Ireland, a small
country on the periphery of Western Europe.

Currently I work at Utsunomiya Chuo Girls'
High School, Nozawa School for the
Disabled, and Mo Gakko - the school for the
blind.

Dia duit. Dahi ata orm. An bhfuil Gaeilge
agat? (pron. "Jeea ditch. Dahee ataw orim.
Un will Gaylga ugut?") I suppose I'd better
explain before you rub your eyes in disbelief.
This isn't English. It's Irish.

The Irish people have their own language but
nowadays, most people speak English. The
translation is, "Hi. How's it going? I'm
David. Do you speak English?

Irish is an ancient language with no
connection to English. It was the language of
the Celts, a very advanced civilization which
inhabited Ireland 2,000 years ago. The legacy
of the Celts is that Ireland has a very
distinctive culture including language, music,
dancing, literature and poetry.

Since coming to Japan I have taken up
cycling as a pastime. The teachers at one of
my schools have even nicknamed me "Chari-
chan." Right now, I'm looking forward to the
Spring. The arrival of the warm weather
means I can ride off into the Tochigi
countryside and beyond.

While travelling on a bike one has the
chance to enjoy the scenery at a slower pace,
enjoy the fresh air and see lots of wildlife,
including the odd cyclist-hungry dog. Then,
when you begin to feel hungry, you can stop
off at the nearest ramen shop for some
noodles and lively conversation with the local
farmers.

Some of my friends think I'm a little bit
crazy for loving cycling so much. My words
in retort are always the same, "Don't knock it
until you try it."

Slan(slawn) goodbye

TOPICS トピックス

青年海外協力隊30周年記念 「帰国隊員報告会＆ パネルディスカッション」開催

青年海外協力隊は、世界中の開発途上
国で、自分の持っている技術や経験を現
地の人々に伝授している。1965年の発足
以来、すでに15,000名を越える隊員が活
躍してきた。栃木県からも250名を超える
隊員が今まで派遣されている。

栃木県出身の帰国隊員で組織している
「栃木県青年海外協力隊OB会」は、青年
海外協力隊発足30周年を記念して、「帰
国隊員報告会＆パネルディスカッション
(テーマ：ふれあいから絆へ、そして未来
へ)」を1月27日(土)、宇都宮市コンセ
ーレで開催した。帰国隊員報告会では、
中米ホンジュラスに電話交換機技師とし
て派遣された大島恵一さんと、バングラ
デシュに体育教師として派遣された原さ



フランス・ヴォークリューズ 県への派遣高校生決定

栃木県とフランス・ヴォークリューズ
県の高校生を派遣・受入れする「栃木県
日仏青少年短期研修事業」で、今年度の
派遣高校生が選考試験の結果、下記の 5
名に決定した。一行は 3 月 12 日～25 日の
14 日間フランスを訪れ、ヴォークリューズ
県内の高校で体験通学等を行う。

▷阿久津幸代(鹿沼高校 2 年)、宇賀神多
恵(宇都宮短大附属高校 2 年)、木島愛
(氏家高校 2 年)、小葉義敬(茂木高校 1
年)、鈴木美里(宇都宮中央女子高校 2 年)
(敬称略・50 音順)



前列右から阿久津、宇賀神、木島、
後列左から小葉、鈴木

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

ブラジルから日系高校生が来県！

栃木県からブラジルに移住した日本人の子（2世）や孫（3世）を栃木県に招請する「ブラジル移住者子弟短期研修生受入事業」が、1996年1月27日～2月17日の期間実施された。

今回本県を訪れたのはサンパウロ州の高校生5名（坂本エリカさん、青山ジュリアナ・ミキさん、タチアナ・ゴメス・ジャルジンさん、竹本博昭ダニエルさん、館野カルロス之男さん）及び、団長の青

山文造氏（在伯栃木県人会総務）の計6名。長旅の疲れも見せず、翌日から様々なプログラムを行なった。宇都宮清陵高校と矢板中央高校では、実際に授業

に参加し、日本人高校生と意見交換をするなど交流を深めた。また、受入親族でのホームステイでは、自分のルーツについて再認識するとともに、日本の日常生活を学ぶことができた。その他、生まれ



て初めてスキーに挑戦し、何度も転びながらも雪の上を滑る爽快感を味わった。

3週間の滞在があっと言う間に過ぎ、初めて訪れた日本での沢山の思い出を胸に、元気に帰国した。

▲宇都宮清陵高校での交流会。右から青山団長、ジュリアナ、ダニエル、カルロス、エリカ、タチアナ

国際交流 学校訪問

河内町立岡本小学校

幼少の頃からの国際感覚の形成が重要視されている昨今、河内町立岡本小学校（児童数391人・坂井悦英校長）は、国際理解教育のための様々なプログラムを実施し児童の意識の国際化を促進している。

現在同校にはペルー人他計8名の外国人子女が在籍している。一時はペルーから15人の児童が編入していたこともある。外国人子女教育拠点校として日本語指導方法等を研究してきたが、今年度からは更に一步前進し、学校教育全体の中で国際理解教育の在り方について全職員で計画的に研究を進めている。

研究のテーマは大きく分けて2つある。ひとつは「子ども一人ひとりの個性を尊

重し、それを伸ばすこと」、もうひとつは「国際化時代に対応する生き方を身につけること」である。自分や自国の良さを認識し異なる個性・文化を認めつつ、自分の考えを伝え話し合うことで、異文化への理解と国際社会に通用するコミュニケーション能力を育てる。また、心の交流を基本に、実際に外国人と接したり、外国の情報に触れる機会を多くする等を重点課題としている。

それではどんなプログラムを行っているのだろうか。まず学習活動では今年度は社会科と道徳に力を入れている。例えば社会科では、「世界のニュースをすぐに伝える通信・報道」と題して、新聞社・通信社等の仕事について事前に研究させ、それぞれ調べたことをみんなの前で発表する。世界の情報がいかに早く伝わるかを知るために、授業内に国際電話やFAXを実際使ってみる。また、日常生活のなかにどれだけ外国のモノ（商品等）が入ってきているのかスーパーマーケットに行って調べるなど、子どもの興味や関心を呼び起こすよう工夫している。一方

道徳では、家族愛や親切心を自然な形で身につけるために、分かりやすい題材を利用する。そして自分で考える能力を高め、他人との意見の違いを認めることを学ぶ。これは人種も文化も違う外国人を認めることにつながるのである。

外国人を招聘して母國の紹介をしてもらう「国際交



▲パキスタンのアクバルさんを招いての国際交流集会

流集会」も昨年10月から毎月のように開催している。パキスタン、フランス、カナダ、ニュージーランド、中国の方々がこれまで同校を訪れ、母国説明や簡単な言葉・ゲームなどを披露した。

その他、月1回児童たちが自分で企画・実施する児童集会では、国際理解に関係するイベントを実施している。学級代表や各種委員が構想を練り、世界の音楽・遊び等を全学年で行う。1～6学年の児童が縦割りでグループを作るため、イベントは活気に満ちているそうだ。更にペルー・リマ市の日系人学校「ラ・ユニオン」の児童と、絵、手紙、習字、折り紙等を交換して国際交流の輪を広げている。

このような様々なプログラムを通して、岡本小の国際理解教育の3つの目標である、「相手の立場や考え方を理解し、誠意をもって接することができる子ども」「自國や他國の文化の特色を理解し、尊重できる子ども」「平和を愛し、世界の平和と人類の幸福に役立とうとする子ども」の育成に、学校が一丸となって取り組んでいる。



▶新聞の中から外国情報を送った記者を見つける

特 集

①交流開始年月（提携年月） ②交流のきっかけ ③プロフィール ④今までの交流内容

栃木県

浙江省（中国）

①1986年4月（1993年10月） ②友好対象国をアンケートした県政世論調査で中国との交流を望む声が多く、栃木県との類似点をもつ浙江省との友好交流が始まった。③国内トップクラスの経済成長を遂げ、蚕、お茶、綿、麻は4大特産物となっている。特にお茶は中国で第1位の生産高を誇り、「龍井茶」は世界に知られている。景勝地としては、省都の杭州市にある西湖や、錢塘江の大逆流他多数ある。紹興酒のふるさとである紹興市も同省内にある。人口は約4千2百万人。④技術研修員の受け入れ、友好交流員の派遣、栃木県青年の船の派遣等。



ヴォークリューズ県（フランス）

①1988年5月 ②1988年5月東京で行った「マロニエフェスティバル」のとき、エールフランス国営航空会社からヴォークリューズ県との交流の提案があった。③南仏プロヴァンス地方に位置し、県都はアヴィニヨン市。同市には、歌で有名なサン・ベネセ橋や、14世紀初頭から一時期置かれたローマ法王庭がある。産業は農業がメイン。ワインのシャトースフ・デュ・バブは高級品として知られる。人口は約47万人。④高校生の相互派遣、大学生やホストファミリーの受け入れ、女性青年海外研修団の派遣等。



宇都宮市

マヌカウ市（ニュージーランド）

①1981年6月（1982年2月） ②「国際理解を深めるため姉妹都市提携を」との市長の提案で

栃木県・市町の友好交流県・姉妹都市案内

宇都宮市姉妹都市提携調査委員会が設立し、調査団をマヌカウ市へ派遣した。③人口約24万人オークランド市から南に約25kmに位置し、マヌカウ湾はフィッシング・ボートの恰好のポイントになっている。美しいビーチが散在するほかゴルフ場やスポーツ施設も数多くある。公園や森林保護区等が設けられ、緑の保存に対して力を注いでいる。④高校生・市民訪問団の相互派遣、ラグビーチームやマオリ文化団の受入れ等。



ラグビーが盛んだ

齊齊哈爾市（中国）

①1980年5月（1984年9月） ②市民訪中団が齊齊哈爾市を訪れたり、黒龍江省对外友好協会あてに寄贈した図書2千冊が一部同市に送付された。③黒龍江省（旧満州）の西北部にあり、人口は590万人。同省第2の都市で、経済・文化・交通の中心地である。草原や湖などの面積も広く、野性の動植物も多数生息している。世界の鶴14種類のうち半数以上の種類が飼育されていて、同市は昔から「鶴城（鶴の市）とも呼ばれている。④市民訪問団の派遣、書画展の開催、留学生・研修生の受け入れ等。



市内風景

オルレアン市（フランス）

①1988年4月（1989年5月） ②テクノポリスを推進している日本の都市と姉妹都市提携調査のため、オルレアン市経済開発協会から3名が宇都宮市を訪問した。③国民的英雄ジャンヌ・ダルクの町として有名なオルレアンは、パリの南方約115km、ロワレ県にある。市内の中央にはロワール川が流れ、高さ81mのサントクロワ大聖堂は中世の面影を残している。「ジャンヌ・ダルク祭」は毎年5月7～8日に開催され、多数の観客が訪れる。人口約25万人。④市民訪問団の派遣、青少年の相互派遣等。



市を中心とする廣場にあるジャンヌ・ダルク騎馬像

タルサ市（アメリカ）

①1985年8月（1992年7月） ②1984年12月、宇都宮北高校とタルサ市のワシントン高校が姉妹校を提携した。③「四季のある街」と呼ばれる緑豊かなタルサ市は、オクラホマ州第2の都市で人口は約38万人、中心部はビジネスセンターとして機能している。20世紀初頭に石油が発見され発展してきたが、現在は化学工業、宇宙・航空機産業等も著しい発展を見せており、ギルクリーズ美術館はインディアンに関する収蔵品に関しては全米一を誇る。④市民訪問団の派遣、学生の派遣・受け入れ等。



高層ビルが建つ市内

ピエトラサンタ市（イタリア）

①1994年2月（1995年8月） ②イタリア国際文化交流協会の理事が宇都宮市役所を訪問し、併せて大谷地区の地下空間を視察し、石の彫刻の背景として最適であるとの評価をした。③トスカーナ州ルッカ県の都市で、ピサとジェノバの間に位置する。人口は2万5千人。主要産業は天然大理石の採掘。16世紀にはミケランジェロが同市の大理石を使いダビデ像を作った。世界的に有名な彫刻家を生み出した町としても知られる。大聖堂には16世紀の美術作品が豊富に保存されている。また、市内には見事な噴水と広場が点在する。④石材関係者相互訪問等。



市内には石で造られたモニュメントが多い

足利市

濟寧市（中国）

①1978年7月（1984年9月） ②足利学校に深く関係を持つ山東省曲阜市が姉妹都市の対象となり、その後同県を含む1市7県によって濟寧市が誕生し、友好交流を始めた。③北京から南に約650km、山東省西南部に位置する。孔子、孟子の故郷で、儒教の發祥の地である。曲阜市にある孔子を祀る孔廟の大成殿は中国3大宮殿建築の一つ。また曲阜市には中国のピラミッドと言われる古代中国伝説中の五帝のひとり「少昊」の陵がある。④友好訪問団の相互派遣、青年代表友好訪日団・研修生の受け入れ等。



スプリングフィールド市（アメリカ）

①1989年8月（1990年10月） ②足利市で英語指導助手として勤務していたリンダ・ペノイトさんが、スプリングフィールド市に帰国後、足利市を紹介した。③人口約10万人、シカゴから南西に約300kmに位置するイリノイ州の州都。

官公庁、銀行、ホテルなどが立ち並ぶ商業都市で、郊外には広大な農地が広がる。リンカーンが政治家への道を志した場所でも有名で、法律事務所、住居、墓など文化財として保存されている。④英語指導助手の招聘、青少年・市民の相互派遣、音楽を通した相互交流等。



▲リンカーン大統領の墓

栃木市

金華市（中国）

①1988年10月（1990年10月） ②金華市は栃木市と自然、沿革、産業等の面において共通点が多く、経済・技術・教育・文化・スポーツ等の交流で相互に発展できると思われた。③浙江省の中部に位置し、人口は約450万人。歴史が古く、数多くの名勝古跡を有する観光地である。近年経済開発区への各國からの企業進出により、急速に経済発展が進んでいる。④市民訪中団や友好訪問団の派遣、金華市経済交流考察による物産展の開催、小学生の受け入れ等。



市内風景

佐野市

ランカスター市（アメリカ）

①1992年4月（1994年10月） ②英語圏との交流を考えていたところ、佐野市出身の寺澤芳さん（現参議院議員、当時MIGA長官）と友人のエイバート・ジョージタウン大学教授（ランカスター市出身）に推薦された。③アメリカ東部ペンシルベニア州の南東部ランカスター郡の郡都。人口6万7千人。アメリカの中でも最

も古い内陸の都市のひとつ。3世紀の歴史をもち同州でもっとも早く開拓・発展し、18世紀の歴史的建造物が多い。アーミッシュでも有名。④中学校英語指導助手の採用、中学生ホームステイによる相互派遣、教員・市民訪問団の派遣等。



▲市内ベンチ廣場でくつろぐ人々

鹿沼市

鉄嶺市（中国）

①1984年1月（1992年3月） ②長野県の農業学校において、鹿沼市出身の教官が鉄嶺市の農業研修生を受け持ったことが縁で、両市の団体による絵画交換が始まった。③遼寧省の北部、省都瀋陽から北へ約75kmに位置する。人口290万人。遼寧省全体の食糧の4分の1を生産する穀倉地帯であるとともに、省最大の鉄法炭鉱や大型火力発電所を擁するエネルギー基地でもある。市街地中心にある龍首山は鉄嶺唯一の景勝地。④技術研修生の受け入れ、訪問団相互派遣、スポーツ交流（小学生の卓球、中学生のバスケットボール）等。

日光市

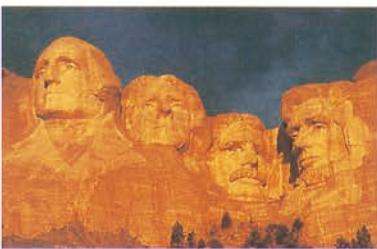
バームスプリング市（アメリカ）

①1966年12月（1969年6月） ②アメリカのウェスタン航空に勤めていた日本人が仲立ちとなり、自然美を備えたバームスプリング市を紹介された。③ロサンゼルスの東約180kmに位置する。砂漠の中に忽然と現れる緑の芝生、池、滝。ゴージャスなホテルやゴルフコースが点在するリゾートタウンである。ホテルが320、ゴルフコースが70、テニスコートが600、プールは7,300もある。④小中学生の絵画交換、親善訪問等。

今市市

ラピッド市（アメリカ）

①1992年1月（1994年11月） ②市内在住のラピッド市名誉市民から、ラピッド市長が今市市との交流を希望していることを受けた。③サウスダコタ州西部のブラックヒルズ地帯の東端に位置し人口約6万人、同州第2の都市である。農業、観光、空軍基地が主に市の経済を支えている。観光・保養地のブラックヒルズへの玄関口であるラピッド市には、年間200万人を越える観光客が訪れる。④中高生・先生のホームステイによる相互訪問、作品交換等の学校交流、姉妹都市訪問ツアーエ等。



▲市近郊にあるマウント・ラッシャモア

小山市

本溪市（中国）

①1985年5月（1994年10月） ②大連出身で宇都宮市在住の田熊氏から、日本の都市との交流を希望している本溪市との交流を勧められた。③遼寧省の開放都市の一つで建材と化学工業を主要産業とする工業都市。同省東部に位置し、人口は154万人。交通の要所で鉄道・道路が縦横に走る。国際級の景勝地である本溪水洞等があり、毎年100万人以上の観光客が訪れる。④友好訪問団の相互派遣、本溪市画家による絵画展の開催、教育交流訪問団派遣。



▲市内風景

真岡市

グレンドーラ市（アメリカ）

①1984年10月（1988年10月） ②真岡高校OB吹奏楽団が訪米の際、グレンドーラ市でホームステイをした。③カリフォルニア州ロサンゼルス市から東方45kmに位置し、人口約5万人。大部分の人が一戸建てに住んでいる。2つの高速道路が走り、都市へアクセスしやすい。葡萄園、綿花栽培、葉たばこ、オレンジ等が生産され、牧畜も行われてきた。またロサンゼルスのベッドタウンとして人口が急増している。④真岡市民吹奏楽団親善訪問、真岡ボーイスカウト・ガールスカウト団訪問、英語指導助手の招聘、姉妹校交流等。



▲市庁舎

大田原市

セント・アンドリュース（イギリス）

①1990年7月 ②大田原市内にあるゴルフ場

「ニュー・セントアンドリュースゴルフクラブ・ジャパン」とゴルフ発祥の地であるセント・アンドリュースのとももつ縁で、両国の青少年の交流・交歓を通して、交流親善を図ることになった。③スコットランドの首都エジンバラの北東、車で約1時間の所にある。人口約1万5千人。6か所のゴルフコースがあり、「ゴルフ発祥の地」として有名である。また、スコットランド最古の大学、歴史ある教会、石造りの家並みなど城塞都市の名残が点在する。④高校生の相互派遣等。



▲風格があるオールドコース

石橋町

ディーツヘルツタール・シュタインブリュッケン（ドイツ）

①1966年8月（1975年4月）②獨協医科大学名誉学長だった石橋長英博士が当時西ドイツを訪問した際、自分の名前と同じ町名である「シュタインブリュッケン（ドイツ語で石橋）」を訪れたことで、交流が始まった。③山と渓谷が素晴らしいドイツ政府公認の保養地で、シュタインブリュッケンの象徴ともいるべき石橋が2か所町外れにある。④訪問団の派遣等。

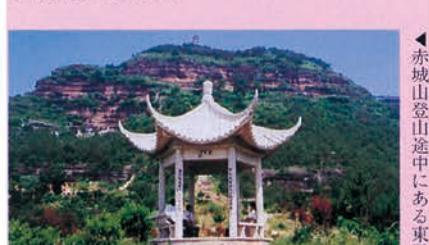


▲序舎の隣にある小学校

岩舟町

天台県（中国）

①1990年5月②岩舟町が生んだ歴史的偉人「慈覚大師円仁」を目指した地に、友好の絆を求めて調査団を派遣した。③浙江省内に位置し、比較的温暖で風光明媚なところである。県内には由緒ある古刹が多く、代表的な国清寺では今でも多くの僧が修業している。人口52万人。④友好調査団の派遣、訪日団受入れ、小中学生の書画作品の交換等。



▲赤城山登山途中にある東屋

氏家町

深圳市（中国）

①1984年7月②県内在住の中国人の方との交流をきっかけに、深圳市との交流を行うことになった。③広東省の南端にある同市は、1980年に經濟特別区となって以来、中国有数の經濟都市に発展した。香港から中国への玄関口として近年観光にも力を入れている。④經濟特別区人民政府視察団の受入れ等。

嘉興市（中国）

①1985年11月②氏家町の農業委員会19名が嘉興市の農業実情視察を行い、農業面で交流を図るという意見交換がなされた。③上海に隣接し、古くから魚米の郷として知られるとともに、沿岸經濟開放区に組み込まれ、発展が期待されている。産業は農業・紡績業が中心。④農業研修生の受入れ、少年少女サッカー団の受入れ等。

上海市（中国）

①1986年10月②県内在住の中国スポーツ関係者と交流があり、氏家町と上海市体育委員会との間で、青少年が国際社会で活躍でき、また健全育成という目的のもと交流を始めた。③中国经济をリードする最大の工業・商業・港湾都市であり、鉄鋼・重機械・造船・化学・精密機械などの重工業が中心。古都北京に比べ、より近代的な国際都市の様相を見せている。④小中学生のスポーツ交流（剣道、卓球、空手）等。

無錫市（中国）

①1988年10月②文部省のアジア地域スポーツ交流事業の指定を受け、無錫市から少年サッカーを受入れ交流が始まる。④少年サッカーの受入れ、ゲートボール協会の団員の派遣等。

ウィニペグ市（カナダ）

①1993年10月②ウィニペグ市出身の外国語指導助手マリア・プライマックさんの仲介で交流が始まる。③カナダの有数の都市であるウィニペグ市は、穀物市場として発展し、人口は約63万人。北米大陸諸都市のなかで最も寒い場所として知られ、冬季には-30°Cまで温度が下がる。世界的有名な「ロイヤル・ウィニペグ・バレエ」をはじめ、音楽や演劇の公演活動も盛んである。レッドリバー等の紅葉もすばらしい。④中学生相互派遣等。

南那須町

青海省（中国）

①1985年4月②栃木県酪農業共同組合連合会が酪農研修生の受入れ窓口となり、栃木県酪農業共同組合から委託され、南那須町で研修生の指導を行っていた。③中国の西部、青蔵高原の東北部「世界の屋根」の上にあり、中国で最も大きな内陸塩水湖「青海湖」があることから青海省と名付けられた。産業は主に牧畜業で、中

国5大牧畜業地区の一つに数えられる。家畜頭数2,000万頭以上。また鉱物資源も豊富である。④酪農研修生の受入れ。



▲広袤な自然で牧畜が行われている

メノモニー市（アメリカ）

①1990年2月（1991年5月）②ウイスコンシン州ベビン村にある「ローラの家」生家復元の許可を取った南那須町酪農家が自営牧場内に「ローラの家」を建立。これを記念して、同州政府からクリスマスツリー用の木のみの木が送られたのをきっかけに、同州政府駐日事務所からメノモニー市を推薦された。③アメリカ北部に位置し、人口1万4千人。教育に熱心な町である。木材製材所は、全盛期には世界最大の木材搬出地となった。現在もなお、自然豊かで自然動植物が目の当たりに見られるほど環境保護に力を入れている。④中学生の派遣、学生・市民劇団の受入れ、サマーキャンプ派遣等。



▲ベビン村にある「ローラの家」

馬頭町

ホースヘッズ村（アメリカ）

①1989年1月（1993年4月）②アメリカ・カナダ視察研修に参加した町村議會議長会副議長がニューヨーク州にホースヘッズ村（馬頭村）があることを知り、馬頭町長に報告し、その後視察団が同村を訪問した。③ニューヨーク市から北西約350km、ニューヨーク州チエマン郡にある。人口約7千人。産業は農業（トウモロコシ、麦）が盛んである。観光施設ではホースヘッズ歴史博物館、コーニングガラス博物館等がある。独立戦争時に活躍したアメリカ軍馬の奉仕を讃える土地として知られている。④青少年海外体験学習派遣団・親善訪問団の派遣等。



▲農場風景

国際交流団体紹介

ACE 栃木 (Association of Cultural Exchange)

1991年8月に、日本人ボランティアによる外国人のための日本語教室としてスタートしました。国際化社会の到来を実感し、市民の国際交流の一つとして活動を続けてきました。

日本語教師養成講座終了者3名を含む日本人ボランティア20数名と、ほぼ同数の外国人が参加しています。ニュージーランド、アメリカ、インド、フィリピン、ペルー、中国、イラン、コロンビア、タイ、スリランカ、オーストラリア、ジンバブエ、イギリスなどです。

教室は月2回、第1・第3日曜日の午後2時から4時半まで、中央公民館2階の4号室で開かれています。日本語学習

だけでなく、文化交流も盛んに行われています。日本文化としては、囲碁、将棋、華道、茶道、着物の着付け、七夕飾り、紙びな作り、日本舞踊、琴、歌、料理などを紹介してきました。生徒さんは自国の説明、歌、楽器演奏、郷土料理、民族衣装、ダンスを紹介してくれました。

また、年に3、4回、行事を催しています。花見、忘年会、新年会以外の行事としては、黒羽雲巖寺、温泉、星野富弘美術館、老人ホーム見学と慰問、県立博物館、スキー、ピクニック、日光、益子焼、日光江戸村などに行ってきました。このように、日本語を勉強しながら楽しく交流を深めています。(文：代表宇佐美幸子 028-662-5830)



▲外国人に日本語を教えるボランティア

知ってて得する なんでもQ&A

[所得税の還付について]

Q. 私はブラジルにいる家族に送金をしています。所得税の一部が還付されると聞きましたが、どうすればよいのでしょうか。

A. まずは職場の経理担当者と相談する

ことを勧めますが、直接本人が税務署に「還付申請」をすることができます。必要書類は源泉徴収票、還付申請者本人であることを証明する書類、還付金の振込銀行名と口座番号がわかるもの、扶養家族あてに送金していることを証明する書類(金融機関等への送金依頼書類等)、送金した相手が扶養家族であることを証明する書類です。また、国内に扶養家族がいたり、前年の医療費支払い合計が10万円以上の場合は返還されることがあります。詳しくは税務署へ。

Konica

国産第1号機の実績と信用



情報マシンとシステム販売

栃木システム販売株式会社

代表取締役 大金幸司

本社 〒321 宇都宮市梁瀬町1785
電話 (028) 637-1933(代) FAX (028) 634-4191

TIA日誌

1996年2月1日～1996年3月31日

- 2/13～15 県費留学生・海外技術研修員・短期研修生スキー研修 (日光湯元)
2/17 ブラジル移住者子弟短期研修生帰国
2/22 国際交流懇談会 (ニューみくら)
3/8 県費留学生・海外技術研修員修了式 (県公館)
3/12～25 栃木県日仏青少年短期研修事業高校生仏国派遣
3/21 TIA評議員会 (自治会館)
3/25 県費留学生・海外技術研修員帰国
3/27 TIA理事会 (ニューみくら)

タンザニア大使がTIA訪問

1996年1月19日(金)、タンザニア連合共和国特命全権大使のイサヤ・バカリ・チアロ氏ご夫妻がTIAを表敬訪問した。大使は、宇都宮市の「タンザニアを支援する会」がタンザニア政府に対してスポーツウェア他を寄贈する贈呈式に出席するため来県したもの。



▲TIAを表敬訪問するチアロ大使

日本の伝統文化や芸術を世界各国へ紹介する一大イベント「ジャパンウィーク」

- 第6回アメリカジャパンウィーク
1996.5.28～6.1
マサチューセッツ州(ボストン市他)
○第11回ヨーロッパジャパンウィーク
1996.11.8～11.15
イタリア(ヴェニス市)

お問い合わせは

日本旅行

運輸大臣登録一般旅行業第2号

宇都宮支店 028-643-3100

〒321宇都宮市駅前通り 1-4-6

栃木県庁内 旅行コーナー 028-623-3470
(県庁内)

情報発信 地域の国際交流案内

★高校生エッセイコンテスト'96

▷募集テーマ=「開発途上国、国際協力について考えていること」で、題は自由
▷募集期間=1996年5月15日(水)まで(当日消印有効)
▷応募資格=1996年4月現在高校生であること
▷応募規定=①本文:400字詰原稿用紙(A4サイズ)4枚以内、②別添:400字詰原稿用紙(A4サイズ)1枚に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、性別、学校名、学年、どのようにしてこのコンテストを知ったかを明記する。③作品は未発表のものに限る。著作権は募集者のJICAに帰属する。
▷入賞発表=1996年7月上旬に入賞者に直接通知する。また「国際協力」9月号誌上にて入賞作品を発表する。
▷賞=特選4名(副賞に約10日間のブラジル研修旅行)、準特選4名(副賞に約1週間のインドネシア研修旅行)、他各賞
▷送付・連絡先=国際協力事業団関東支部 〒336 埼玉県浦和市北浦和4-5-5 北浦和大栄ビル7階☎048-834-7770

★ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディション

ロシアのサンクトペテルブルクにあるクラシックバレエ学校の最高峰「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー」公

認の留学生オーディションが、日本で初めて正式に栃木県で開催される。▷実施日=1996年7月13日(土)、14日(日)のどちらか1日(主催者が指定)
▷実施会場=栃木県総合文化センターリハーサル室(ギャラリー棟地下2階)
▷留学生受入予定人員=10名以内
▷留学期間=1996年9月1日~1997年6月30日(10か月間)
▷審査員=ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー主任教授タチアナ・ウダレンコワ、他
▷審査内容=バーレッスン、センターレッスン等の実技を行う。また簡単な身体測定を実施する。
▷審査結果発表=7月14日
▷参加資格=1976年1月1日~1979年12月31日までに生まれた方(国籍は問わない)
▷参加料=8,000円(返却不可)
▷参加方法=所定の参加申込書に必要事項を記入し、健康診断書と参加料8,000円を同封のうえ、現金書留にて申込む。
▷受付期間=1996年5月1日~1996年6月10日(必着)
▷送付・連絡先=栃木県総合文化センター企画事業課「ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディション」係 ☎320
栃木県宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

★女性のための米国研修ツアー

ホームステイ交流を推し進めている「ホームステイ交流全国ネットワーク」は、「市民による地域づくりと新しい市民生活の知恵を求めて」をテーマに米国研修ツアーを実施する。
▷実施日=1996年4月12日~4月21日
▷訪問先=カンザス・シティ(ミズーリ州)、オースティン及びサ

ンアントニオ(テキサス州)
▷研修内容=教育現場視察、草の根活動に従事する米国人女性との意見交換会、ディケアセンター訪問他
▷参加者=20歳以上の女性で、上記テーマに興味がある方。英語力は問わない。
▷定員=20名(定員になり次第締切り)
▷滞在先=ホームステイ6泊及びホテル2泊
▷参加費=348,000円
▷申込方法=所定の参加申込書に必要事項を記入し、申込み金50,000円の銀行振込受取書(コピー可)を添えて郵送する。
▷送付・連絡先=〒169 東京都新宿区高田馬場1-5-20千代田生命ビル2階文際教育交流センター内「女性のための米国研修ツアー」係 ☎03-3209-4971

★喜連川町国際交流協会が発足

喜連川町では、国際交流を通して世界各国の人々との相互理解と友好親善を深めるために、1996年1月30日、国際交流協会を設立した(会長は花塚發町長)。
▷所在地=塩谷郡喜連川町大字喜連川4420-1
▷連絡先=喜連川町役場総務課内☎028-686-6611 FAX028-686-2055

TIAライブラリー新着案内

▷マルチリンガル・マラソン「外国语60分」シリーズ(イタリア語、韓国語、スペイン語、タイ語、中国語、ドイツ語、フィリピン語、フランス語、ペルシャ語、ポルトガル語)／株式会社アルク
※詳しくはTIA ☎028-621-0777まで。

○ブラジルのサンパウロ市から5名の日系人高校生が栃木県を訪れた。高校での交流会では、カルロス君、ダニエル君の男性2名が女の子にモテモテだったとか(うらやましい!)。でもカルロス君はモテすぎたせいか、スキーコースで熱を出してダウン。ついでに引率のR・T嬢もインフルエンザでダウン。しかし2人ともすぐに回復して、残りのプログラムに参加したのであった。
○仏国ヴォークリューズ県へ派遣される高校生が決まり、出発前の研修会で仏語の集中講座を受けた。さて彼らは現地でどれだけおぼえたての仏語を実践してこられるかな?

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。

